



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月3日

上場取引所 東・名

上場会社名 日邦産業株式会社

コード番号 9913 URL https://www.nip.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 岩佐 恭知

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート本部長 (氏名) 西富 干城 (TEL) 052-218-3161

四半期報告書提出予定日 2023年8月8日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	10,148	10.8	487	11.2	528	66.8	335	145.9
2023年3月期第1四半期	9,162	4.1	438	11.7	316	△23.0	136	△52.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 776百万円(△10.9%) 2023年3月期第1四半期 870百万円(6.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	37.65	-
2023年3月期第1四半期	15.00	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	29,169	13,017	44.6
2023年3月期	28,674	12,530	43.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 13,016百万円 2023年3月期 12,528百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	33.00	33.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	0.00	-	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,900	0.0	1,830	△4.3	1,810	△3.3	1,270	0.1	141.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	9,127,338株	2023年3月期	9,127,338株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	194,026株	2023年3月期	211,826株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	8,923,037株	2023年3月期1Q	9,108,052株

(注) 当社は「信託型従業員持株インセンティブ・プラン (E-Ship)」を導入しております。野村信託銀行株式会社 (日邦産業社員持株会信託口) が所有する当社株式 (2024年3月期1Q 174,700株、2023年3月期192,500株) を期末自己株式数に含めております。また、野村信託銀行株式会社 (日邦産業社員持株会信託口) が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております (2024年3月期1Q 184,975株、2023年3月期1Q 0株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における外部環境としましては、新型コロナウイルス感染症による各種の規制が緩和され、社会経済活動の正常化が進み、個人消費や設備投資に持ち直しが見られるなど、景気全体は緩やかな回復基調で推移しました。一方、当社グループを取り巻く事業環境は、①半導体の供給不足の問題が一部の業界・地域に解消されずに残っていること、②資源価格（動力費を含む）の高騰が継続していること、③各国の経済安全保障等の取組みによる影響がサプライチェーンに及んでいることの3つのマイナス要因が継続する状況の中で推移しました。

このような状況の中、当社グループは、2023年5月19日にお知らせしました、新たなビジネスモデルの構築を通じて開発してきた「新製品・新商材」の積極的な販促活動を展開する期間（「中期経営計画2028」のステップアップに向けた準備期間）と位置付けた「中期経営計画2025」をスタートさせ、基本方針として掲げた「1. 定量目標値の達成」「2. 事業ポートフォリオマネジメントの導入」「3. PBR 1倍の達成に向けた施策の実行」の3つの方針に沿って、各実行施策に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,148百万円（前年同期比10.8%増）、営業利益は487百万円（前年同期比11.2%増）、経常利益は528百万円（前年同期比66.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は335百万円（前年同期比145.9%増）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ・エレクトロニクス

電子部品及び住宅設備の関連メーカーに対して、専門商社として、またファブレスメーカーとして、高機能材料、加工部品、治工具及び機器等を国内外で販売しております。

当セグメントの業績は、スマートフォン関連部材の生産調整の影響を継続して受けたものの、通信基地局やサーバー向けの配線板材料、ベトナム工場のドライフィルム事業及び沖縄工場のウエハ研磨用キャリア事業の受注が堅調に推移しましたが、タイ（コラート）工場のドライフィルム事業の立ち上げに伴い計上した先行費用の影響を受けました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は4,309百万円（前年同期比4.1%増）、セグメント利益は282百万円（前年同期比7.9%減）となりました。

## ・モビリティ

自動車メーカー及び自動車部品メーカーに対して、樹脂成形品及び同組立品を核とした様々な自動車関連部品を国内外で製造・販売しております。

当セグメントの業績は、顧客の中国向け製品の販売不振により、タイ（バンコク）工場のパワートレイン系部品の受注が減少しましたが、国内顧客の生産回復が進み、受注が好調に推移するとともに、インドネシア工場やベトナム工場の受注も堅調に推移しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は4,150百万円（前年同期比14.7%増）、セグメント利益は418百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

・医療・精密機器

医療機器メーカー、プリンターメーカー等に対して、樹脂成形品及び同組立品等を国内外で製造・販売しております。

当セグメントの業績は、タイ（コラート）工場の医療機器部品の受注が堅調に推移し、プリンター関連部品の受注は、ベトナム工場とフィリピン工場は堅調に推移したものの、タイ（コラート）工場は顧客のサプライチェーンの変更や半導体・電子部品の供給不足による減産影響を受け減少する等、地域によって増減の影響を受ける中で推移しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は1,728百万円（前年同期比20.1%増）、セグメント利益は36百万円（前年同期は14百万円のセグメント損失）となりました。

・その他

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タイの国際地域統括本部におけるマネジメント業務等で構成しております。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は47百万円（前年同期比2.2%減）、セグメント利益は15百万円（前年同期比23.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### 資産、負債及び純資産の状況

#### (流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて50百万円増加し16,632百万円となりました。

これは商品及び製品が302百万円減少したものの、現金及び預金が251百万円、受取手形及び売掛金（電子記録債権を含む）が183百万円増加したことなどが主な要因となっております。

#### (固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて444百万円増加し12,536百万円となりました。

これは投資有価証券が280百万円、建物及び構築物（純額）が108百万円増加したことなどが主な要因となっております。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて494百万円増加し29,169百万円となりました。

#### (流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて229百万円減少し12,484百万円となりました。

これは短期借入金が133百万円、賞与引当金が76百万円減少したことなどが主な要因となっております。

#### (固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べて236百万円増加し3,667百万円となりました。

これは繰延税金負債が188百万円増加したことなどが主な要因となっております。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて7百万円増加し16,152百万円となりました。

#### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて487百万円増加し13,017百万円となりました。

これは為替換算調整勘定が243百万円、その他有価証券評価差額金が196百万円増加したことなどが主な要因となっております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期は、モビリティ及び医療・精密機器の業績が好調に推移したことから連結業績は増収増益となりましたが、当第2四半期にアセアン顧客の生産調整によって受注が減少し、当第3四半期以降にその受注状況の回復を見込んでいることから、2024年3月期の連結業績予想値としては、2023年5月12日に公表しました連結業績予想値である売上高38,900百万円、営業利益1,830百万円、経常利益1,810百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,270百万円を据え置いております。

なお、上記連結業績予想の計算に用いた為替換算レート（期中平均レート）は、1米ドル=133円、1タイバーツ=3.8円であり、本予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて計算しており、実際の業績は、今後様々な要因によって本予想値と異なる結果となる可能性があります。連結業績予想の見通しに修正が必要と判断される場合は、改めて公表させていただきます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,910	5,161
受取手形及び売掛金	6,695	6,971
電子記録債権	645	552
商品及び製品	2,105	1,803
仕掛品	368	397
原材料及び貯蔵品	1,049	839
未収入金	468	500
その他	341	408
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	16,582	16,632
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,841	10,151
減価償却累計額	△5,916	△6,118
建物及び構築物（純額）	3,924	4,032
機械装置及び運搬具	11,248	11,663
減価償却累計額	△9,185	△9,517
機械装置及び運搬具（純額）	2,063	2,146
工具、器具及び備品	1,333	1,407
減価償却累計額	△1,050	△1,085
工具、器具及び備品（純額）	283	322
土地	1,736	1,776
建設仮勘定	222	90
有形固定資産合計	8,230	8,369
無形固定資産		
その他	380	393
無形固定資産合計	380	393
投資その他の資産		
投資有価証券	2,037	2,318
繰延税金資産	169	180
退職給付に係る資産	19	18
その他	1,267	1,269
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	3,480	3,773
固定資産合計	12,091	12,536
資産合計	28,674	29,169

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,725	7,746
短期借入金	2,133	2,000
1年内返済予定の長期借入金	348	357
リース債務	114	120
未払法人税等	160	176
賞与引当金	346	270
その他	1,883	1,813
流動負債合計	12,713	12,484
固定負債		
長期借入金	920	859
リース債務	199	268
繰延税金負債	223	412
再評価に係る繰延税金負債	2	2
退職給付に係る負債	1,590	1,644
資産除去債務	192	208
その他	301	272
固定負債合計	3,430	3,667
負債合計	16,144	16,152
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,137	3,137
資本剰余金	612	612
利益剰余金	6,995	7,030
自己株式	△142	△130
株主資本合計	10,603	10,650
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	162	358
土地再評価差額金	5	5
為替換算調整勘定	1,744	1,988
退職給付に係る調整累計額	12	12
その他の包括利益累計額合計	1,925	2,365
非支配株主持分	1	1
純資産合計	12,530	13,017
負債純資産合計	28,674	29,169



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	9,162	10,148
売上原価	7,548	8,370
売上総利益	1,613	1,777
販売費及び一般管理費	1,174	1,289
営業利益	438	487
営業外収益		
受取利息	2	5
受取配当金	4	5
為替差益	-	44
スクラップ売却益	16	15
その他	11	20
営業外収益合計	33	92
営業外費用		
支払利息	18	25
電子記録債権売却損	5	8
為替差損	117	-
その他	13	17
営業外費用合計	155	52
経常利益	316	528
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産処分損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	317	526
法人税、住民税及び事業税	104	93
法人税等調整額	76	97
法人税等合計	180	190
四半期純利益	136	335
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	136	335

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	136	335
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71	196
為替換算調整勘定	661	243
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	734	440
四半期包括利益	870	776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	870	776
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、(2022年9月22日開催の取締役会に基づき)当社従業員(以下「従業員」といいます。)に対して中期的な企業価値及び株式価値の向上と連動したインセンティブを付与することで、これと関連する業績向上に向けた意識と行動を高めさせるとともに、「日邦産業社員持株会」(以下「持株会」といいます。)の拡充を通じて従業員の株式取得及び保有を促進することにより従業員の財産形成を支援する福利厚生増進策とすることを目的とした、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship)」(以下「本プラン」といいます。)を導入しております。

(1) 取引の概要

本プランは、持株会に加入するすべての従業員を対象とするインセンティブ・プランです。本プランでは、当社が信託銀行に「日邦産業従業員持株会専用信託」(以下「専用信託」といいます。)を設定し、専用信託は、「中期経営計画2025」の対象期間の業績の結果並びに本対象期間に実行した戦略等が株価に反映されるであろう期間として、信託契約日から4年間にわたり持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を予め取得します。その後は、専用信託から持株会に対して継続的に当社株式の売却が行われるとともに、信託終了時点で専用信託内に株式売却益相当額が累積した場合には、当該株式売却益相当額が残余財産として受益者適格要件を満たす者に分配されます。なお、当社は、専用信託が当社株式を取得するための借入に対し保証することになるため、当社株価の下落により専用信託内に株式売却損相当額が累積し、信託終了時点において専用信託内に当該株式売却損相当の借入金残債がある場合は、当社が当該残債を弁済することになります。

本プランは、従業員に対して中長期的な企業価値向上のインセンティブを付与すると同時に、福利厚生増進策として、持株会の拡充を通じて従業員の株式取得及び保有を促進することにより従業員の財産形成を支援することを狙いとしています。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度130百万円、192千株、当第1四半期連結会計期間118百万円、174千株であります。

(3) 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度129百万円、当第1四半期連結会計期間129百万円

## (セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エレクトロ ニクス	モビリティ	医療・ 精密機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,124	3,599	1,438	9,162	—	9,162	—	9,162
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	20	0	37	48	85	△85	—
計	4,139	3,620	1,439	9,199	48	9,247	△85	9,162
セグメント利益又は セグメント損失(△)	306	378	△14	671	20	692	△253	438

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タイの国際地域統括本部におけるマネジメント業務等で構成しております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△253百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△245百万円等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エレクトロ ニクス	モビリティ	医療・ 精密機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,296	4,124	1,728	10,148	—	10,148	—	10,148
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13	26	0	40	47	87	△87	—
計	4,309	4,150	1,728	10,189	47	10,236	△87	10,148
セグメント利益	282	418	36	737	15	753	△265	487

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タイの国際地域統括本部におけるマネジメント業務等で構成しております。

2 セグメント利益の調整額△265百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△258百万円等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。